

8. おわりに

本報告書概要は、平成23年度に千葉県が行った液状化調査の概要について、以下の内容をまとめたものである。

- 千葉県内で観測された地震動と地震被害
- 千葉県内の液状化被害の要因分析
- 地震動の再現のための地盤モデルの修正
- ゆれやすさマップの作成
- 液状化しやすさマップの作成
- 液状化対策工法の考え方

この調査結果は、県内の20本のボーリング調査と、現在千葉県が可能な範囲で収集したデータを基に算出したものである。

液状化しやすさマップとゆれやすさマップは、あくまでも、最新の知見に基づき作成したもので、シミュレーションには技術的限界があり、また、データも地域に偏りがあることから、結果には誤差が含まれていることを念頭に使用して下さい。

液状化しやすさは、液状化対策を実施していないものとして想定しています。

本調査、検討は東日本大震災千葉県調査検討専門委員会のご意見、ご指導を頂き進めました。また、この調査にあたり、関係市局、市町村、関連事業者等から貴重なデータの提供を受けました。ここに記して感謝いたします。

東日本大震災千葉県調査検討専門委員会委員名簿（五十音順）

氏 名	役 職	備考（分野）
大井 昌弘	独立行政法人防災科学技術研究所 研究員	情報発信
佐竹 健治	東京大学大学院地震研究所 教授	津 波
佐藤 慶一	東京大学社会科学研究所 准教授	情報発信
宍倉 正展	独立行政法人産業技術総合研究所 活断層・地震研究センター 海溝型地震履歴研究チーム長	津 波
田中 淳	東京大学大学院 情報学環 総合防災情報研究センター長・教授	情報発信
中井 正一	千葉大学大学院工学研究科 教授	地震動、液状化 (座長)
畑中 宗憲	千葉工業大学工学部 教授	地震動、液状化
安田 進	東京電機大学理工学部 教授	地震動、液状化
山崎 文雄	千葉大学大学院工学研究科 教授	津 波

平成 23 年度東日本大震災千葉県液状化調査
報 告 書 概 要

発行年月 平成 24 年 3 月

企画・発行 千葉県総務部消防地震防災課

指 導 東日本大震災千葉県調査検討専門委員会

調 査 応用地質株式会社